日中新聞 JAPAN CHINA NEWS 人民日報 海外版 日本語週刊 第5-9版

発行所：株式会社日中新聞社
発売日 2012年（平成24年）4月6日（No.505）

特集

白翔会

日中国交回復40周年記念特別イベント

日本伝統芸能「能」公演

程永華大使、福田元首相など出席 約600人が4時間の舞台を堪能

程永華大使、福田元首相と記念写真

日中国交回復40周年記念の特別イベントとして、日本を代表する伝統芸能の一つ・能の公演が3月18日、東京都渋谷区の国立能楽堂で行われた。程永華中国駐日全権特命大使や福田康夫元首相、日中友好議員連盟事務局長を務める林芳正元防衛大臣及び近藤誠一文化庁長官が相次いで挨拶、国交正常化40周年記念イベントの先駆けとして行われた今回の公演を祝った。

「大陸からの華」と題したこの公演の演目は、「楊貴妃」や「邯鄲」、「石橋」など中国の古典から由来した物語を中心に組まれている。さらに、中国の国花である牡丹をパンフレットに飾るなど、中国大陸から日本に伝わった文化や哲学の真髄を能の世界で表現し、約600人の観客を楽しませた。

主催した白翔会は、長年にわたって日中文化交流に積極的に活動してきた能公演の団体としても知られている。この日も、4時間にわたる公演の間、満席の観客に埋め尽くされた会場は始終熱気に包まれ、能楽ファンだけでなく、中国大使館や中国報道機関からも大勢の関係者が駆けつけていた。

白翔会を率いる「重要無形文化財総合保持者」の坂井音重さんは、10年前の2002年と5年前の2007年に、日中国交正常化30周年及び35周年の記念公演を、それぞれ北京で実現している。

坂井音晴

坂井音重

当時の舞台に選んだのも、故宮や和平門など中国が誇る数々の世界遺産。日中間の有形無形文化財を一堂に融合させようとはじめ、中国の主要メディアに大きく報道された。さらに記念公演の中で、日本の伝統芸能である能・狂言と中国の伝統芸能である京劇、昆曲を同じ舞台で競演させたことが話題になり、CCTVは「日本が誇る能楽は、大陸中国文化の大きな影響を受け独自に昇華された芸能です。華とは牡丹などの花だけでなく、心の豊かさをも現しているのではないかと思います。きょうの公演に中国関係者が大勢お見えになりましたが、公演の途中でも拍手が沸き起こり、日本人の観客も思わず拍手を送ってくれました。日本人の観客だけでは見られない光景です。舞台に立っていた私も、中国公演した時の光景を思い出し、両国の人々が共鳴を共有した瞬間をもう一度体験させてもらいました。中国大陸から伝わってきた心の豊かさを、両国の国民が共有できれば、真の日中友好につながるのではないかと期待しています」と語った。

公演に続いて行われた記念祝賀会は、両国の国旗掲揚、国歌演奏という厳粛な雰囲気の中で始まった。玄葉光一郎外務大臣から寄せられたメッセージが代読されたほか、会場に駆けつけた程永華中国駐日全権特命大使や福田康夫元首相、日中友好議員連盟事務局長を務める林芳正元防衛大臣及び近藤誠一文化庁長官が相次いで挨拶に立ち、国交正常化40周年記念イベントの先駆けとして行われた今回の公演を祝った。

また日本でもおなじみの、中国を代表する京劇名優の梅葆玖さんも、中国への帰国日程を延ばしてまでこの公演に駆けつけた。京劇の巨匠である父親の梅蘭芳氏が1919年に行った初めての海外公演が日本だったことを披露しながら、伝統芸能による文化交流の重要性を訴えた。さらに、日中友好の絆をより強かなものにするため、以前より国交正常化の記念公演で競演してきた能楽師の坂井音重さんと、再び中国で同じ舞台に立つことを固く誓い合った。

（文章構成：本紙特約記者・厳粛　写真提供：白翔会）